

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●桜花賞ではスターズオンアースがG I 初制覇を果たす

4月10日(日)に行われた桜花賞(G I)では、ここまで5戦1勝で単勝7番人気だったスターズオンアース(牝3歳/美浦・高柳瑞樹厩舎)が優勝、重賞初制覇をG Iの舞台で果たしました。1勝馬の桜花賞勝利は2016年ジュエラー以来6年ぶり、史上8頭目のこととなります。

●佐々木大輔騎手がJ R A初勝利をあげる

4月10日(日)の3回中山第6日・第8レースではスイートカルデアが1着となり、同馬に騎乗した佐々木大輔騎手(美浦・菊川正達厩舎)は、J R A初勝利(22戦目)をあげました。

●福永祐一騎手がJ R A史上第4位となる2542勝をマーク

4月10日(日)の2回阪神6日・第4レースではトラーパーニが1着となり、同馬に騎乗した福永祐一騎手(栗東・フリー)は、J R A通算2542勝(1万8914戦目)をあげました。これは蛭名正義元騎手の持つ通算2541勝を抜き、J R A史上単独第4位の記録となります。

●ケイティブレイブらの競走馬登録抹消

2018年J B Cクラシック(Jpn I)などの勝ち馬ケイティブレイブ(牡9歳/美浦・清水英克厩舎/J R A通算22戦3勝・地方24戦9勝)のほか、2019年京都記念(G II)などの勝ち馬ダンビュライト(騾8歳/栗東・音無秀孝厩舎/J R A通算29戦4勝・地方1戦0勝・海外1戦0勝)、2020年小倉記念(G III)の勝ち馬アールスター(牡7歳/栗東・杉山晴紀厩舎/J R A通算29戦4勝)、2021年函館2歳S(G III)の勝ち馬ナムラリコリス(牝3歳/栗東・大橋勇樹厩舎/J R A通算6戦2勝)は、4月6日(水)までに競走馬登録を抹消されました。ケイティブレイブは北海道新冠町の優駿スタリオンステーションで種牡馬、ダンビュライトは岡山県真庭市の蒜山ホースパークで乗馬、ナムラリコリスは北海道浦河町の桑田正己牧場で繁殖馬となり、アールスターは地方・大井競馬へ移籍する予定です。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●ショウナンナデシコがマリーンC(船橋)を圧勝

マリーンC(Jpn III、4月13日、船橋、1600m)は、2番手を追走した2番人気のショウナンナデシコ(吉田隼人騎手、牝5歳、父オルフェヴル)が、直線に入って間もなく逃げた1番人気のサルサディオーネ(大井)を捉えて8馬身引き離し、エンプレス杯に続いて重賞2連勝。レースプランシュは3着、3番人気のレディバグは5着、クールキャットは6着でした。

●4月8日に愛知県弥富市の新・名古屋競馬場がオープン

弥富トレーニングセンターを競馬場として整備した新・名古屋競馬場は、4月8日(金)にオープンしました。名古屋市港区の旧競馬場と比較するとかなり規模が小さく、座席数は屋外観覧席(無料)が312席(旧競馬場は4413席)、屋内有料席は262席(同1243席)。新競馬場最初の重賞競走となった東海桜花賞(4歳以上、1500m)は、金沢の吉原寛人騎手が騎乗した川崎からの遠征馬インベリシャブルが優勝しています。

●リュウノユキナらが参戦、4月20日の東京スプリント(大井)

東京スプリント(Jpn III、4月20日、大井、1200m)は、このレース連覇を目指すリュウノユキナが中心、以下ピンシャン、シャマル、サクセスエナジー、ヒロシゲゴールド、ルーチェドーロ(川崎)までが争覇圏内と考えられます。

※最新の開催情報は各主催者のホームページ等でご確認ください。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G 1クイーンエリザベスS~シンクイットオーバーが制す

現地時間4月9日にオーストラリアのランドウィック競馬場で行われたG 1クイーンエリザベスS(3歳上、芝2000m)は、N.ローウィラー騎手が手綱を取ったシンクイットオーバー(騾6歳、K.パーカー厩舎)が道中2番手追走から、直線で馬場の比較的良い外ラチ沿いに進路をとると、そこから末脚を伸ばして優勝しました。不良馬場の勝ちタイムは2分10秒87。0.6馬身差の2着にはオールスターマイルの勝ち馬で、ここは逃げたザークが入りました。勝ったシンクイットオーバーは昨年3月のG 1ジョージライダース(芝1500m)以来となるG 1・2勝目です。

●G 1サンタアニタダービー~タイバがデビューから2連勝で優勝

米国カリフォルニア州のサンタアニタパーク競馬場で4月9日に行われたG 1サンタアニタダービー(3歳、ダート1800m)はM.スミス騎手騎乗のタイバ(牡3歳、父ガンランナー、T.ヤクティーン厩舎)が3番手追走から同じ厩舎のメシエ(前走G 3ロバートB.ルイスSを15馬身差で圧勝)を直線でとらえて2馬身1/4差で優勝。7馬身半差で楽勝した今年3月のデビュー戦(ダート1200m)から2連勝でのG 1初制覇となりました。なお、上位2頭は資格停止中(90日間)のB.バファート調教師の下から転厩してきたばかりでした。